

研究課題名	再発肝細胞癌に対する腹腔鏡対開腹再肝切除における比較検討
研究の意義・目的	再発肝細胞癌患者様に対して、腹腔鏡と開腹再肝切除で、術後短期成績及び長期予後を比較検討し、再発肝細胞癌に対する再肝切除において腹腔鏡と開腹手術のどちらが望ましいと考えられるのか検討します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2021年6月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2011年4月1日から2018年12月31日までの期間に、大阪市立大学医学部附属病院の肝胆膵外科で、肝細胞癌再発に対して肝切除を施行した患者様が対象となります。ただし、肝細胞癌に対してラジオ波焼灼術、肝動脈塞栓術、抗癌剤による治療歴のある患者様は対象となりません。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、血液検査データ、CT画像、手術で摘出した標本の病理所見など。再発までの期間。生存期間。】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関奈良県立医科大学消化器・総合外科に頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	代表研究機関：奈良県立医科大学消化器・総合外科 野見武男 共同研究期間：大阪市立大学肝胆膵外科 久保正二、関西医科大学外科 海堀昌樹、和歌山県立医科大学第2外科 山上裕機、京都府立医科大学消化器外科 生駒久視、大阪大学消化器外科 江口英利、大阪医科大学 一般・消化器外科 内山和久、近畿大学肝胆膵外科 中居卓也、滋賀医科大学消化器外科 谷 眞至
試料・情報を管理する責任者	代表研究機関：奈良県立医科大学消化器・総合外科 野見武男
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究は、教室研究費により実施しています。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 (担当者氏名) 田中 肖吾 電話番号：(06) 6645-3841 メールアドレス：kantansui117@msic.med.osaka-cu.ac.jp